

美しく永遠に輝く愛と青春・若い人々に捧げる不滅の名篇!

忘れないでほしい…
二人で誓いあった
この溢れる喜び!

原作・シェイクスピア

ロミオとジュリエット

《テクニカラー》

オリビア・ハッセー
レナード・ホワイティング
ミロ・オーシア
マイケル・ヨーク
ジョン・マッケナリー
監督 フランコ・ゼフィレリ
音楽 ニーノ・ロータ



PARAMOUNT PICTURES presents
A BHE FILM
The
FRANCO ZEFFIRELLI
Production of
ROMEO
& JULIET

ロミオとジュリエット



かいせつ

シェイクスピアの『ロミオとジュリエット』といえば『ハムレット』と並んで世界中の人々に最も愛されている古典戯曲であり、若い夢みる頃の人なら誰もがこのように美しくまた、哀しい恋にあこがれを抱くだろう。事実、古今東西、あらゆるラブ・ストーリーの原典は『ロミオとジュリエット』だといえいわれ、映画化もこれが四回目である。

主役はロミオに16才のレナード・ホワイティング、ジュリエットは15才のオリビア・ハッセーという、当時全くの新人の新鮮なコンビ。『じゃじゃ馬ならし』で有名になったイタリア演劇界の鬼才フランコ・ゼフィレリ監督が鮮烈で華麗な映像美と演出力のすばらしさで世界中を湧かせた。

原作の主人公にふさわしい年令の俳優を探して活躍させた、というゼフィレリの卓越した感覚が、シェイクスピアの四〇〇年もの昔の恋物語を現代によみがえらせたのである。

原作にも有名なバルコニーのシーン、仮面舞踏会における二人の出会いのシーン、そしてロミオとティボルトの決闘の場面の感動など、枚挙にいとまのない美しく感動的なシーンの連続である。

ROMEO & JULIET

《スタッフ》

監督……………フランコ・ゼフィレリ
脚本……………フランコ・ゼフィレリ
"……………フランコ・ブルサーティ
美術……………ルチアノ・ブッチーニ
衣装……………ダニロ・ドナーティ
作曲……………ニーノ・ロータ

《キャスト》

ジュリエット……………オリビア・ハッセー
ロミオ……………レナード・ホワイティング
ロレンス神父……………ミロ・オーシング
ティボルト……………マイケル・ヨーク
乳母……………パット・ヘイウッド
ペロナの大守……………ナターシャ・パーリー

あらすじ

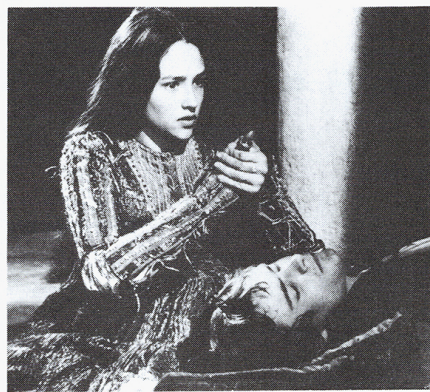
イタリア・ルネッサンス黎明期の一四五〇年の春まだ浅きペロナの町。

二大名門として知られるモンタギュー家とキャピレット家は家長から下男に至るまで、何かと云うと仇敵視しあう仲で、血で血を洗う争いが絶えなかった。

ある日、キャピレット卿は恒例の舞踏会を開き多数の貴族たちが集った。モンタギュー家のロミオはその舞踏会にしのび込み、その中で一きわ目にすく美しい令嬢を見た。その美しさはたちまちにしてロミオを恋のとりこにした。

お互いは手をとりにあひ踊った。しかし、二人は敵同志だという事を知って驚き悲しんだ。恋の手びきは二人を月夜のバルコニーに会わせ、若い二人は結婚を誓った。

当然二人の恋には、さまざまな邪魔が入った。二人を理解し助けるのは神父と乳母だけだった。二



人はひそかに神父様の前で結婚式をあげ、永遠の愛を誓った。しかし、事態は急転した、ケンカを仲裁しようとしたロミオが加えてジュリエットの母の甥ティボルトを殺してしまったのだ。ロミオは追放され、ジュリエットはこのま、死にたいと泣いて床に倒れたのだ。これは、悲劇の、ほんのはじまりであった……。

★レナード・ホワイティング

ロンドン生まれ。ポップ歌手にのりたかったのだが、認められてロンドン公演の「オリバー」に15カ月にわたって出演。それからテイズニーのTV映画にしたり、モスクワ・ベルリンなどで公演したたり、モスクワ・ベルリンなどで公演したたり、発声・フェンシング・番号の猛練習を行なった。この作品で世界中の女性を魅了し、その後「太陽の征服者」「さよならを言わないで」に出演。

★オリビア・ハッセー

アルゼンチン生まれ。父はオペラのテナーだった。母はイギリス人。オリビアの芸歴としてはロンドンの舞台上2年立っただけか2本の映画に端役として出演。映画史上最年少のジュリエット役で世界中のアイドルとなった。

世界各国を旅行するのが趣味。歌手ティーン・マーティンの息子ティノと結婚した。最近作は「失われた地平線」「サマータイム・キラ」。

お得な特別鑑賞券好評発売中!

(一般・大学生1,000円、の処 800円、
高・中学生 900円)

1月17日(土)より新春第2弾! 純愛ロードショー

パラマウント映画
CIC配給

東 劇 (541) 2711
東銀座

地下鉄
東銀座下車

